

従業者向け

事業所における自己評価結果

事業所名	かるがも園					公表日 R8.1.21
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	23	0	利用定員に対しては十分な広さを確保できている。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	5	適切な職員数を配置している。	職員の欠勤や活動内容により職員数が足りない場合は、適切に配置できるよう体制を整えたい。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	25	2	お子さまに合わせた伝え方を訓練士等と一緒に考えながら工夫している。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	24	2	保育開始前と終了後に清掃と消毒を行っている。使用したおもちゃや遊具を消毒し、清潔に保つようにしている。	日頃から整理整頓を心がけ、備品等が使いやすいうように気をつけたい。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	26	1	必要により別室を使用したり、保育室内でも衝立を利用するなど、お子さまの状況に応じて対応している。		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17	1	目標設定と振り返りのための会議を定期的に行い、職員が業務改善に積極的に関わるようしている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	0	評価表の結果および意向はすべての職員に周知した上で、職員会議でも検討し、業務改善に努めている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	2	会議や面談等を通じて意見を把握し、業務改善に努めている。	職員がより活発に意見を交わせる環境づくりが課題。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	3	三田市によるモニタリングを実施し、指摘部分は速やかに改善している。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	29	0	内部の職員研修を計画的に実施とともに、外部の研修会にも参加するなど研修の機会を設けている。		
児童発達支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	25	0	ホームページ上で公表している。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	22	0	定期的に発達評価と発達相談を行い、保護者との個別懇談を通じて課題を分析し、児童発達支援計画を作成している。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21	0	ケース会議等により、指導員及び訓練士がお子さまの課題を分析し、必要な支援について協議した上で、支援計画を作成している。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	24	0	児童発達支援計画に沿った支援を適切に行っている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0	遠城寺式発達検査により訓練士が定期的にお子さまの発達検査を実施しているほか、日々の保育記録等により総合的にお子さまの状況を確認している。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	22	0	お子さまに必要な支援内容を、指導員、児童発達支援管理責任者、訓練士が協議の上で設定している。	
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	21	1	児童発達支援管理責任者と指導員、場合によっては訓練士やグループ療育の講師と相談しながら活動プログラムを立案している。	今後も協力しあって作成していきたい。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	24	0	音楽療法・臨床美術・体育教室・茶道・ハワイアンフラ・シェルボーンムーブメント等子どもの発達に役立つ様々な療育活動を講師の指導のもと、指導員や訓練士と協力して子どもの支援を行っている。	
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20	1	お子さまの状況に応じて、個別訓練、グループ訓練、グループ療育、クラス単位の活動など、多様な活動の組み合わせにより支援を行っている。	
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23	2	毎朝、支援開始前に職員間でミーティングを行い、当日の予定や役割を確認している。	勤務日や勤務時間が異なる職員への伝達に漏れがないよう注意したい。
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25	2	毎日、支援終了後に職員間で振り返りや情報共有等を行っている。	勤務日や勤務時間が異なる職員への伝達に漏れがないよう注意したい。
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	25	0	子どもの様子などを毎日記録し、支援内容を検証し、改善を行っている。	
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	25	0	発達検査・発達評価と、保護者との個別懇談を定期的に実施し、発達支援目標の達成を評価したうえで、児童発達支援計画の見直しを行っている。	
関係機	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18	2	お子さまの状況を理解した職員が参加している。	
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	22	1	日頃から様々な関係機関と情報共有し、連携している。	
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	0	必要に応じて、併行先施設への訪問や見学の受入れを行い、相互に情報共有を行っている。また場合によっては、移行に向けた会議を開き、保護者、移行先関係者、障害児相談支援事業所、指導員、訓練士等が参加の上、利用児童の引継ぎを行っている。	
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	24	0	学校等と連絡をとり、支援内容等の引継ぎをおこなっている。	
	(28~30は、センターのみ回答)	18	0	市内の関係者向けに療育講座を開催したり、定期的に開催される市内の連携会議に参加し、連携を図っている。	
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関 や 保 護 者 と の 連 携	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21	0	福祉、教育、医療の専門機関と連携し、地域で開催される情報交換会にも参加している。専門機関が行う療育研修会への受講を積極的にすすめている。	
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	2	市内関係委員会の委員の委嘱をうけているほか、各会議にも参加している。	
	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25	1	近隣園との交流保育を定期的に実施している。また、定期的に開催している園庭開放では、地域のご家族も多く参加されるなど、利用児童と地域の子どもたちが自然な交流ができる機会を設けている。	
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20	0	保護者と指導員が子どもの発達状況について同じ認識を持ち、共通の支援ができるよう努めている。また、連絡帳・個別懇談等を通して保護者との情報交換を行っている。	
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	25	1	子どもの発達についての相談を、発達評価、個別懇談、普段の聞き取りの中で受けている。また、保護者対象の研修会を実施している。	
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20	0	見学や入園時等に説明している。	
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	22	0	発達評価や個別懇談、普段の聞き取りの際に保護者の意向を聞き取り、作成している。	
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	24	0	個別懇談等で説明を行い、同意を得ている。	
保護者への説明等	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20	0	保護者からの相談に対していつでも応じるようにしている。個別懇談の際に、保護者の悩みを丁寧に聞き取り、望ましい対応について訓練士等とも相談しながら助言をしている。	
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20	0	保護者の希望により、保護者会が廃止された。このため、保護者が気軽に来園てきて交流の場となるように、研修会やレクリエーションプログラム等を実施した。また家族で参加できる夏まつりや園庭開放など、きょうだいも楽しめる活動を行っている。	
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	25	0	入園時に申し入れ等の窓口について説明しているほか、随時保護者の相談に応じている。迅速な対応を心がけ、原因の究明と今後の対応について職員間で協議し、保護者への説明を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	24	1	園だより、クラスだよりを毎月発行し、行事予定や活動内容について保護者に連絡している。また、必要に応じてメールで情報発信を行っている。	SNS等の活用は今後検討したい。
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	25	0	個人情報については取扱いを厳重にし、正当な理由なく第三者に漏らすことのないよう、必要な措置を講じている。	
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	25	0	視覚支援等により、お子さまが理解できる方法で意思疎通を図っている。保護者とは、毎日の連絡票を使って情報共有している。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	23	0	運動会で近隣中学校の吹奏楽部に演奏していただいたり、地域のボランティアが行事や保育でお子さまと一緒に活動を行った。また、かるがも園見学会を行い、関係機関、三田市内の幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校等に呼びかけ、かるがも園について知っていただく機会を設けた。民生委員や子育て支援員など地域の福祉活動をサポートする方の訪問もあり、見学等の申出がある場合は、積極的に受け入れている。	
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	28	0	毎年、職員に研修を行っている。保護者に対しては必要事項の説明を行うほか、マニュアルを玄関のラックに配置し、閲覧できるようにしている。	
	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	27	0	BCPを策定するとともに、毎月、保育中に防災避難訓練を行っている。また、消防署立ち合いによる避難訓練を年1回実施している。	
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	27	0	入園時に保護者に記入していただいている。	
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	26	0	医師の診断書に基づき、食材の除去や代替食の提供など適切な対応をとっている。	
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	0	安全計画を作成し、職員に必要な研修を実施している。	
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	1	安全管理については、保護者に説明を行っている。月1回実施している避難訓練は園だより等で予定を伝えているほか、親子クラスの保護者も参加している。	
虐待	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	0	ヒヤリハットは毎日記録を行い、翌朝の朝礼で全職員に情報共有している。	
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	27	0	虐待防止委員会を組織し、職員研修を実施している。	
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	25	0	やむをえず身体拘束を行う場合は、身体拘束廃止委員会で検討し、保護者の了解の上で決定し、児童発達支援計画に記載している。	